

聖火ランナーインタビュー

今までお伝えしてきたとおり、5月7日、町に初めての聖火がやって来ます。「益城町役場建設予定地」から「惣領交差点手前」までの約 2km を 13 人の聖火ラン

ナーが走り、聖火をつなぎます。県の公募で町を走ることが決定している、町出身の聖火ランナー 2 人にインタビューすることができましたので紹介します。

「プロゴルファー永野竜太郎選手としての今シーズンの抱負を教えてください。」
永野 優勝を意識して、納得できるシーズンにしたいです。その頑張っている姿が、地元の人たちに届けばいいなと思います。

「東京 2020 オリンピックはどのようなオリンピックになつてほしいですか？」
永野 すごい選手たちを見て日本中が熱狂すればいいと思います。そして、災害続きで沈んだ気持ちを吹き飛ばしてほしいです。

「益城町 PR ランナーとしてどのような思いで聖火をつなぎたいですか？」
永野 震災以降、町民の皆さんは大変な時期があったと思います。しかし、少しずつ復興が進み、町並みも良くなっています。その中を聖火が通るだけでも町民に勇気を与えることができると思つし、町出身者としてそれができるとがうれしいです。

「聖火リレーの益城町 PR ランナーに選ばれた感想を教えてください。」
永野 西村町長から連絡を頂いた時、とても光栄なことなので、すぐ「走ります」と返事しました。生まれ育った益城町の聖火ランナーに選ばれてうれしかったです。



益城町 PR ランナー
 ながの りゅうたろう
永野竜太郎さん
 1988年5月6日生。益城町出身のプロゴルファー。2017年8月から町復興大使も務める。

「聖火リレー当日は、どのような気持ちで走りますか？」
亀山 益城町に聖火が来るのは一度きりかもしれないので、貴重な経験になると思います。楽しんで走りたいです。

「13区間のうち、どこを走りたいですか？それはどういう理由で？」
亀山 小学5年生から環境委員として惣領にある湧水の調査活動を行っていました。この時仲間と一緒にまとめた活動結果が、環境大臣賞という最高の評価を得た思い出があるので、惣領を走りたいです。

「見事に聖火ランナーに選ばれました。感想はいかがですか？」
亀山 最初は、私が選ばれるとは思っていませんでした。でも、考えているうちに、復興が進んでいる益城町の姿を世界中の人に見てもらいたいと思い応募しました。

「聖火ランナーに応募しようと思った動機は何ですか？」
亀山 最初はお父さんに勧められて悩みましたが、でも、考えているうちに、復興が進んでいる益城町の姿を世界中の人に見てもらいたいと思い応募しました。



公募ランナー
 かめやま
亀山ほのかさん
 広崎4町内在住。益城中3年生で、硬式テニス部に所属。部長も務める。(インタビュー当時)



聖火リレー開催当日の交通規制などのお知らせ
 5月7日(木)、東京2020オリンピック聖火リレーが町で開催されることに伴い、左図のとおり交通規制が行われます。また、観覧エリアも決められています。ご迷惑をお掛けします。が、ご理解とご協力をよろしくお願いします。
 閩町教育委員会 聖火リレー推進室
 ☎ 287・4330